

平成28年 3月 9日

熊本市長 大西 一史 様

郵便番

住所

団体名 NPO法人日本防災士会・熊本県支部

代表者 職名 支部長 氏名 宮下 正一



熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

平成 27年 4月 1日付け指令(市協)第1-1号により、平成27年度熊本市市民公益活動支援助成金の交付を受けました事業の実績について、下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名

地域市民とNPOとのコラボDEまちづくり防災出前講座

2 助成事業の実施期間

平成27年 4月 / 日 ~ 平成28年 2月 27日

3 助成事業の内容

災害図上ゲーム(DIG)・避難所運営ゲーム(HUG)・クロスロードゲームを積極的に計画しまして、町内会及び児童や生徒の皆さんに体験して頂き、いつ・何処で発生するか解らない自然災害に対する知識・認識を高めるために実施しました。

4 事業の成果

今回は小学生(高学年)の生徒や大学1年生及び介護施設の沢山の人々に防災・減災に備える心構えが如何に大事であるかを指導しまして、大学生や沢山の市民の人々が「災害発生時の緊急避難がとても大事だ」と理解されました。

5 助成事業の実施状況

(1)事業収支決算書(様式第16号)

別紙にて添付

(2)事業の経過又成果を証する書類等

- 1、熊本大学知のフロンティア講座と気象庁との防災・減災を考える講座の実施
- 2、社団法人熊本市社会福祉協議会とNPO法人日本防災士会・熊本県支部との「災害時における災害ボランティア活動に関する協定書」の締結(熊日新聞に掲載)

(3)その他参考となる資料

- 1、熊本市総合計画・熊本市長政策総室政策企画課とのヒアリングの意見聴取
- 2、熊日新聞による協定書の締結式を掲載(平成27年8月11日)
- 3、第4回くまもと災害ボランティアリーダー研修会in南区に参加(平成27年9月19日)
- 4、市政リレーシンポジウム(全体会)&地域防災セミナー(平成27年10月13日)
- 5、第5回くまもと災害ボランティア研修会in西区に参加(平成28年2月27日)
- 6、番組名「はっけんラジオ」NHKラジオ第1放送/九州沖縄8県向生放送H27・6/8 H28・2/8の2回に亘り出演しました。

事業報告書

平成 2 7 年 度	
事業名	地域市民とNPOとのコラボDEまちづくり防災出前講座
目 的	私達が住んでいる熊本は、世界の他国と比べて、気象、地形、地質などの自然条件から地震、台風、洪水、豪雨、土砂災害などの自然災害が発生し易く、これまでに度々自然災害に見舞われて、甚大な被害が発生している。 災害が突然発生した時、その災害が大きければ大きい程、公的機関の機能は減退する。災害の発生が昼間の発生ならば、多少は警察・消防などの機関は有効に機能するが、深夜に発生した場合には、地域市民・職場の人々と助け合い、少しでも被害拡大を防がなければならないが、まず自分の命は自分で守るのが大事であり、個々の力には限界がありますので、日頃から隣近所の町内会での連携がとても大切です。
事業期間	平成 27 年 4 月 / 日 ~ 平成 28 年 2 月 27 日
具体的な事業内容	①災害図上ゲーム(D I G) 平成27年4月25日(土)熊本大学工学部教室において、「土砂災害と土砂災害防止法」マグニチュードとは、地震そのものの大きさを表す単位で、M9の地震はM7の地震の1,000倍ものエネルギーが有る等の内容の講義を受けながら、一般市民が60名参加して「いかに人と人の協力が大事なかが理解できた」と意見が出てい。資料NO.1 ②クロスロードゲーム(CrossRoadgame) 平成27年5月16日(土)熊本大学工学部教室にて、大学生及び一般市民55名が参加して、「災害対応を自らの問題として考え、又様々な意見や価値観を参加者同士共有することを目的として、防災ワークショップを実施した。資料NO.2 ③平成27年度(第50回)熊本市総合防災訓練に大津町防災士連絡会を招待して参加し平成27年5月20日(水)白川堤防右岸にて、熊本市との強力な連携を強化して、自然災害に対する地震・風水害等の災害に対応するため、防災士会との更なる協力態勢と絆の確立を願って防災士20名程度協力しました。資料NO.3 ④大規模災害避難訓練(避難所運営ゲームHUG) 平成27年5月24日(日)高橋小学校体育館2Fにおいて、防災士による防災講演と地震等が発生した場合に備えて、仮想被災者を住民4人でレスキューボードベンチ(RescueBench)で安全に搬送する模擬訓練や防災器材の展示や減災は日々の備えと絆を結び減災風呂敷の紹介や災害状況を撮影した記録写真を展示して、災害の心構えを伝えました。資料NO.4 ⑤災害図上ゲーム(DIG)を平成27年6月21日(日)に熊本市北区武蔵ヶ丘1丁目の地域市民に対して、「助けられる人から助ける人」に成って、防災・減災活動を積極的に行動し、地域住民の「安全・安心の架け橋団体」となり、町内会の皆さん25名が参加されて講習会を実施しました。資料NO.5 ⑥～クロスロードゲーム～(CrossRoadgame) 平成27年6月27日(土)熊本大学工学部にて、防災士及び一般市民11名参加して「クロスロード」とは、手軽なグループゲームをしながら、災害への対応を自らの問題として、アクティブに考えることが出来、かつ自分とは異なる意見・価値観に気づく。このように多くの市民の人々が災害に対する関心を持たれていました。資料NO.6 ⑦避難所運営ゲーム(H U G) 平成27年10月31日(土)熊本県立大学1号館1番教室において、「もやいすと(防災)ジュニア育成を、防災士10名が協力致しまして、1年生260名に実施した。資料NO.7 ⑧～クロスロードゲーム～(CrossRoadgame) 平成28年2月27日(土)県立かがやきの森支援学校において、花園・城西校区民生委員24名、高橋校区・河内7名・千原台高校教師2名参加されまして、災害対応を問題とし、様々な意見や価値観を参加者同士共有することを目的に実施した。資料NO.8
活動場所	熊本市中央区・東区・北区等及び国立・県立大学講義室にて開催

期待される効果	最近日本各地で突発的に自然災害による火山噴火や地震等が発生しており、知恵を活かして、被害を受けずに安全第一に避難所に避難されるのが急務であり、熊本県防災士会では、防災・減災活動を通じて、一般市民が大小の地震や大雨豪雨災害が発生し被害を被った場合には、即支援活動を開始して人々に寄り添った活動を実施致します。
---------	---

事業収支決算書

項 目		金 額	(円)	内 訳
収 入	自己資金		115,000	会費55@2,000=110,000 事業収益 その他前年度事業繰越金5,000円
	市民公益活動支援 助成金		210,000	当該事業に対する助成希望額
	その他の補助金・ 助成金			
	寄付金・協賛金		10,000	個人・団体からの寄付金等
	その他			
	計		335,000	
支 出	助 成 対 象 経 費	人件費		
		報償費	60,000	アドバイザー謝金10,000×6名
		役務費		
		使用料・賃借料	12,000	会場使用料2,000円×6回
		消耗品費	243,000	資料印刷代 白・黒 48,000 カラー 116,460 事務用品代 35,952 トナー代 27,540 クロスロードゲームセット 15,048
		旅費		
		備品購入費		
		その他		
	小計	315,000		
	助成対象外経費	飲食費	20,000	アドバイザー及びスタッフ弁当代 500円×40人=20,000円
		小計	20,000	
	計		335,000	